

KiKiの広場

2014年 11月 1日

cafe NO.49
KiKi



今年も出入口横のフェイジョアの木に実が生りました。昨年少なかった分今年は小粒ながらもたくさん実がつき、風が吹く度にコロコロと落ちてきて、スタッフオンリーのドアまでノックしてきます。フェイジョアの実を見ると、毎年「あ～、秋になったんだなあ。」と思います。日中と朝晩、日向と木蔭の温度差がとても激しくて、体調管理の難しい季節でもあります。深まりゆく秋を感じながらいろいろな旬を楽しみたいと思います。

11月の予定

2日(日)	臨時営業
3日(月)	臨時休業
11日(火)	休館日
毎日曜日	定休日

「今日のケーキ」・・・「バナナキャラメルケーキ」 350円



生のバナナを練り込んだ生地、キャラメル生地を挟み込んでこんがり焼き上げ、しっとりとなめらかな生地とグラブルのサクサクとした食感が特徴です。温めるとバナナとキャラメルの甘い香りが一層引き立ちます。

新登場!! 「彩り野菜のカップケーキ」 350円

女性にうれしい食物繊維が豊富なさつまいもを使った生地、ズッキーニやパプリカ、かぼちゃなどの彩り野菜をたっぷりトッピングし、アクセントにチーズを加えたケーキです。栄養バランスを重視した、砂糖不使用のケーキです。



今月のお気に入り&本棚・・・「秋に読みたい・出会いたい絵本」

～「もりのこびとたち」「森のおひめさま」「花さき山」「だんごおしそらをとぶ」「そこなし森の話」「そら、にげろ」など～



「もりのこびとたち」は、深い森の中で繰り広げられるこびとたちの日常のお話です。子どもたちがかえると飛び合いっこしたり、こうもりの背中に乗せてもらったり、お父さんが松かさの鎧を着てへびと戦ったりと、とてもリアルで楽しく思わず隅々まで見たくくなります。見開きページの左はモノクロ、右はカラーで描かれていて、構成も繊細な絵もとてもすてきです。「森のおひめさま」は、100年も前に作られたドイツの古典絵本です。こちらは森のちいさなおひめさまが朝起きてから眠るまでの1日のお話です。風が送ってきた「つゆのこ」がおひめさまの髪をとかし、「こけのぼうや」が朝ごはんの用意をし、「からすの先生」の勉強がすむと動物たちと遊び、「きのこぼっこ」のお話を聞いた後、「星のこどもたち」が帰り道を照らしてくれる。全ての登場人物がとても愛らしくて自然の美しさを優しく伝えてくれます。



ほっとフレイク

小学校低学年くらいの女の子とお父さんが来店。チーズケーキと飲み物のセットを注文されると、お父さんは雑誌を、女の子は絵本を読み始めました。ケーキと飲み物を運ぶと、お父さんはすぐに食べ始めましたが、女の子は読むのをやめようとしません。女の子が読んでいるのは、アンデルセンの「ぶどう酒びんのふしぎな旅」。



ワインボトルとして生まれたびんが数奇な運命をたどっていくという、絵本にしては60ページもある長いお話で、藤城清治さんの光と影で描かれた繊細な影絵がとても美しい絵本です。アイスティの氷が解けだしても、運ばれてきたものには目を向けず絵本に没頭している女の子に対して、お父さんもいっさい声をかけず、自分は自分で食べ終わったらまた雑誌を読み始める、その姿勢に思わず見とれてしまいました。女の子は読み終わると、お父さんと話をしながらチーズケーキを食べ、氷がなくなったアイスティを飲み、お父さんはそれをゆっくりと待って会計をされました。自分だったら何も考えずにまず、「先に食べたか？」と声をかけているだろうなと思いつつ、日頃のおうちでの様子が思い浮かび、我が子に対しての「待てる」ことの意味と大切さを考えさせられました。

